

# 2 年学年だより

大淀中学校 2 年 平成 30 年 2 月 19 日 第 40 号

## (〇)車いすバスケットボール

14 日(水)体育館において、車いすバスケットボール地域親善交流会が実施されました。車いすバスケットボール女子オランダチーム選手 6 名と役員 2 名、上野信子北区長を筆頭に区役所から 3 名来校されました。

2 年生と 1 年 1 組(2 組と 3 組は学級休業中)が参加しました。車いすの搬入は 2 年生男子が手伝ってくれました。

生徒会の大住くんと田中さんが司会を務め、高宮くん・松尾さん・山本さんが整列係として動いてくれました。

参加生徒全員による車いす体験(車いすリレーとシュート)後の女子オランダチームとの交流ゲームには 2 年生を代表して、

男子:市岡・畑山・内田・矢野・浅田・鍛冶屋・

櫻井海空斗・横山翼くんが参加。

女子:平井・舘本・田原・藤井・北川・矢部・

ウイジェセケラ法子さんが参加。

オランダ女子チームの選手のみなさんが優しくサポートしてくださいました。男子の交流ゲーム中に車いすの車輪が外れるというハプニングがありましたが、ケガがなくて何よりでした。

閉会セレモニーでは、色紙をデザインした各学級の代表が選手に手渡しました。(1 組 横山さん、2 組 高田さん、3 組 藤井さん)会場正面に掲げられた横断幕は、2 年生女子有志と 1 年生女子有志の手で作成されました。



車いすを使ってリレーをした時、思っていたより下半身が固定されて、びっくりしました。まっすぐ進むのも難しかったです。シュート練習もジャンプができないので、腕の力が必要だと感じました。選手が 3 対 3 をしている時、スリーポイントシュートをみごとに決めたことに感動しました。 [1 組 女子]

車いすバスケットボールを初めて体験しました。普通のバスケットと全然違うスポーツをしているような感覚でした。

選手とタッチしたときに、とても固い感覚が伝わってきました。ずっと車いすを押していたらそうなるんだと思いました。 [3 組 男子]

笑いで人と人がつながることがよくわかりました。人と人が助け合えば、世の中がもっと良くなると思いました。足に障がいがあっても、何もできないわけではないということも知らされました。自分の足が動くのがとても幸せなことだと感じました。

車いすバスケットの選手たちも最初は悩んだと思います。その困難を乗り越えて、今があるのだと思います。この交流会でとても大切なことを学びました。

[2 組 女子]